

# 2010高校生大会(144MHz)での私の判断と行動

2010年8月1日(日)  
於 新潟県阿賀野市

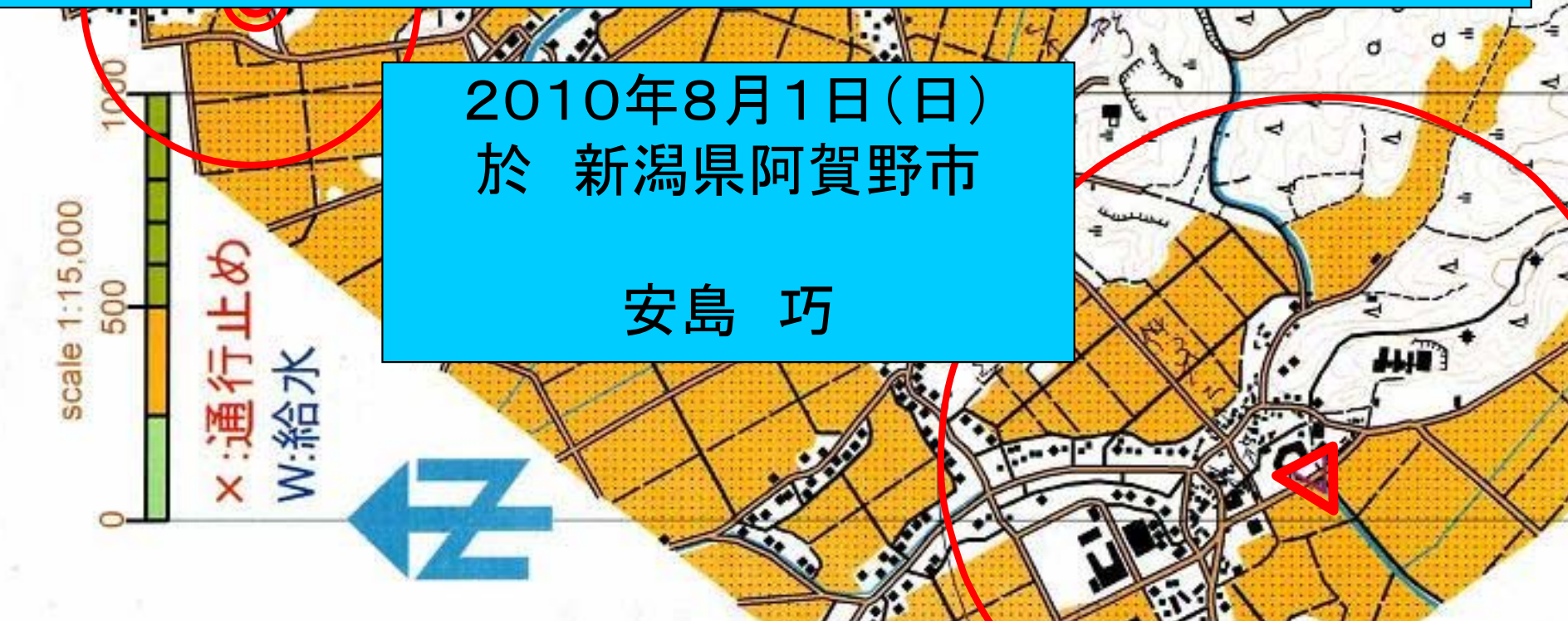
安島 巧

scale 1:15,000

0 500 1000

×:通行止め

W:給水



# 初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

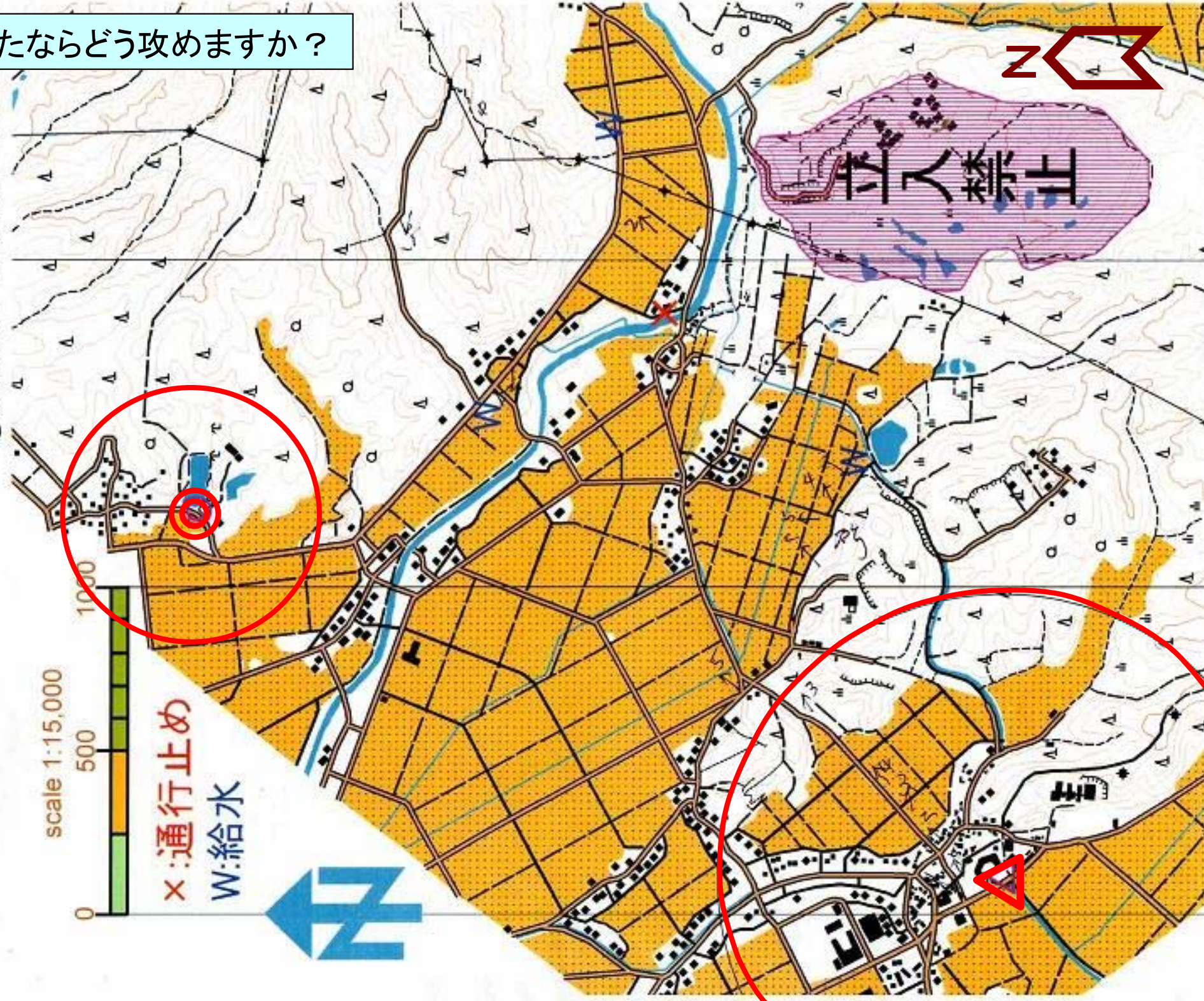
従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

# 第7回全国高等学校 ARDF 競技大会

@新潟県阿賀野市 H22.0

あなたならどう攻めますか？



①スタート前の地図読み

トレイン中央部は広い田んぼで周辺部は山地でそれほど深くない。反射がほとんどない、素直な方探が楽しめる高校生大会にふさわしいトレインだ。多人数の大会でもあり、他の競技者の動向で、遠くからTXの位置がわかってしまう平野部にはTX設置はない。ということは、山すそに沿って進み、山に少し入ったところに設置するというのが妥当な線だ。3箇所の水のみ場もちゃんと山すそに置かれている。よって、まずトレイン中央の平野部に最短で出て、左回りにコース取りをする。ただし、Aエリアにもある可能性があるため、それだけは最初に確認すべきである。

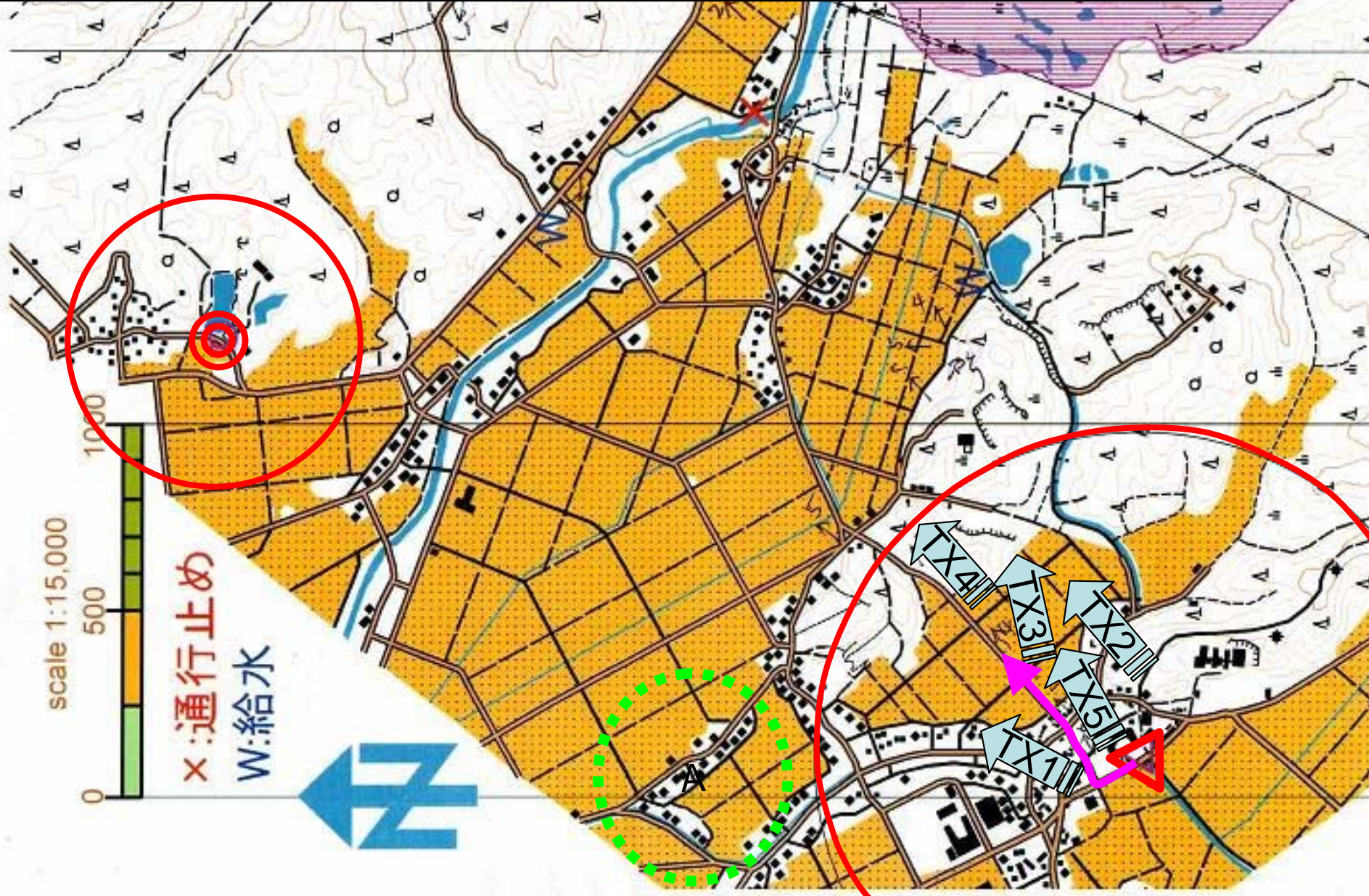


# 第7回全国高等学校 ARDF 競技大会

@新潟県阿賀野

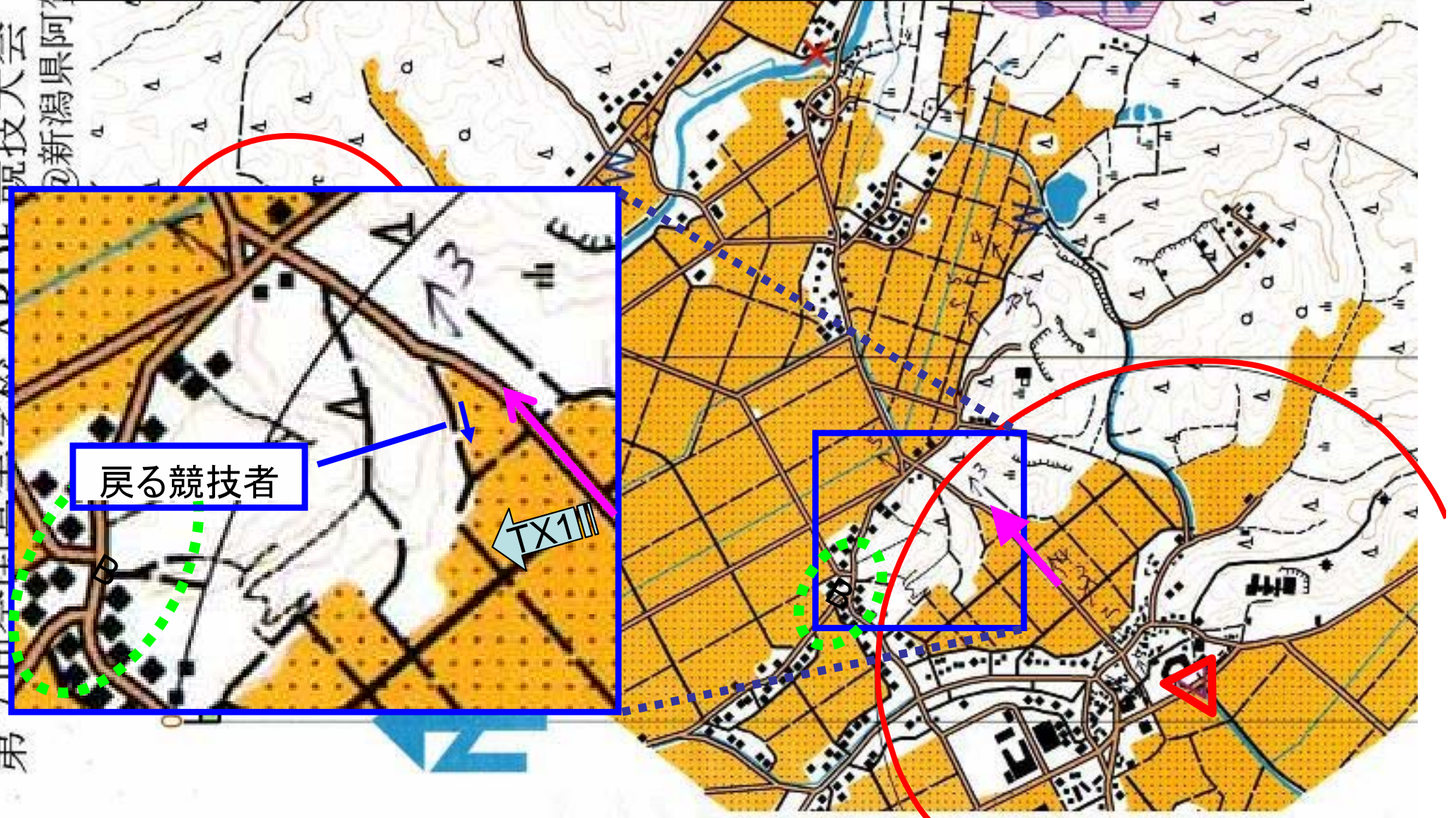
## ②探索開始地点

特に高台でもない平野部なので、テレイン中央部を目指し進みながら方探。  
TX1が最も強く、それのみが進行方向やや左、しかしAエリアほどではない。  
従ってそのまま進む。



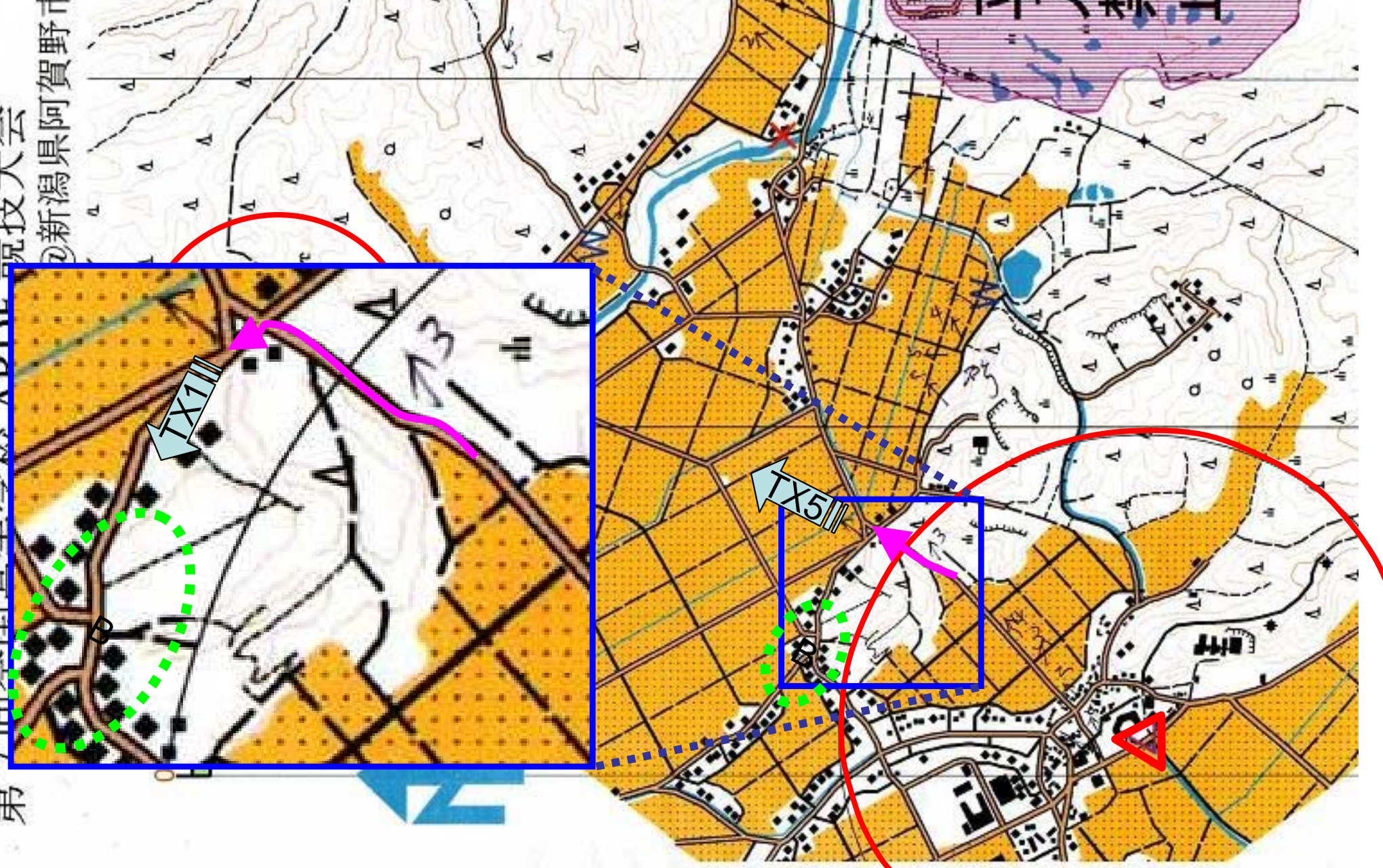
### ③逆戻り競技者

TX1が鳴く。直接波ほど強くない、750m円を考えてBエリアと推定。Kさんから2・3人の競技者が戻ってくる。どうやら750m円内側から山越えアタックしようとしているのであろう。地図を見ると道は途切れている。よって自分は山の反対側からアタックすることにする。



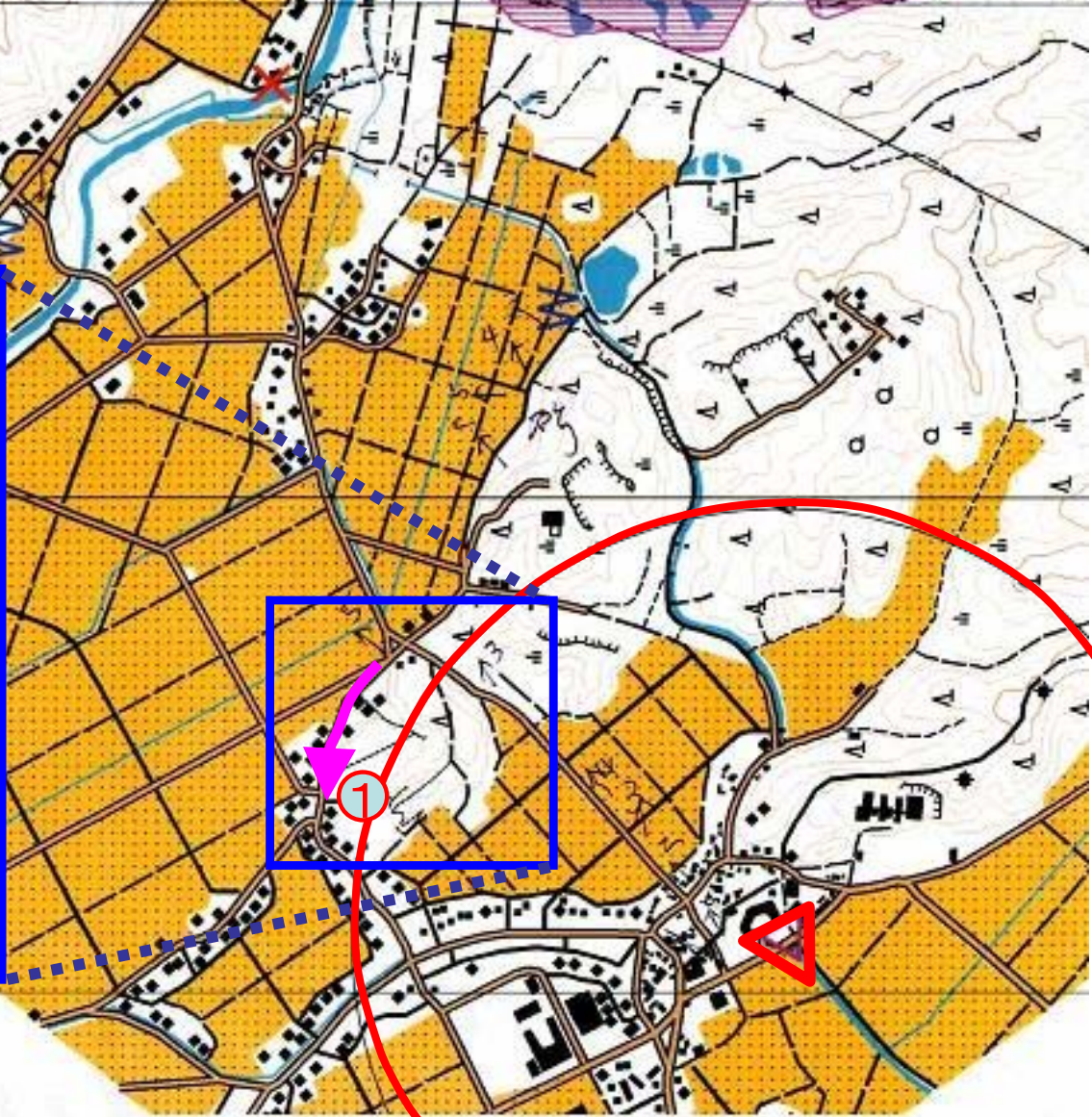
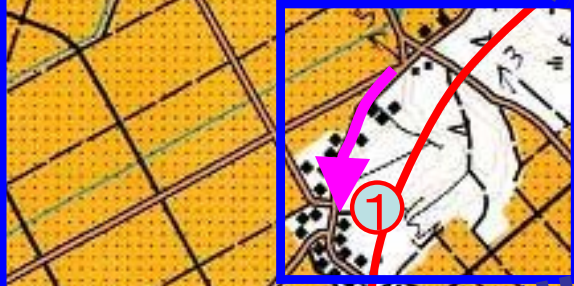
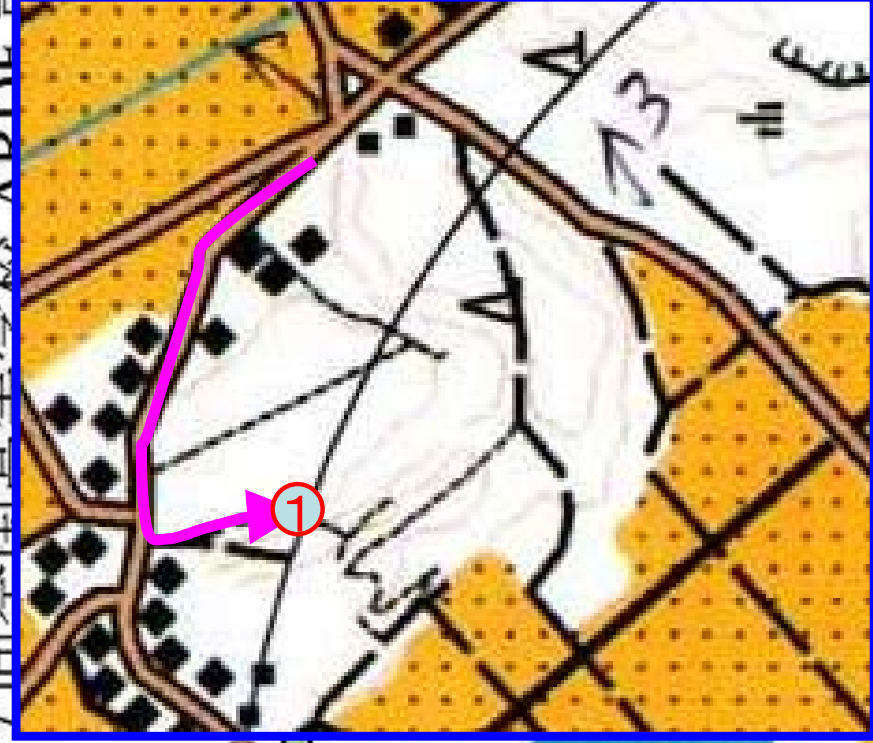
#### ④複雑交差点

平野部に出たところの複雑交差点で念のため方探。TX5はゴール方向。ターゲットのTX1もそれほど強力ではない。Bエリアの端か物陰ということだ。



⑤TX1

何人かが山から走って出てくる。さっき、山越えアタックしに行ったKさんもいた。これは確定。そのまま進みTX1ゲット。  
山から出てくるとき、競技者の姿をした巡回スタッフのNさんとすれ違う。よっしゃー。リードだ。





# 第7回全国高等学校 ARDF 競技大会

@新潟県阿賀野市 1103.01

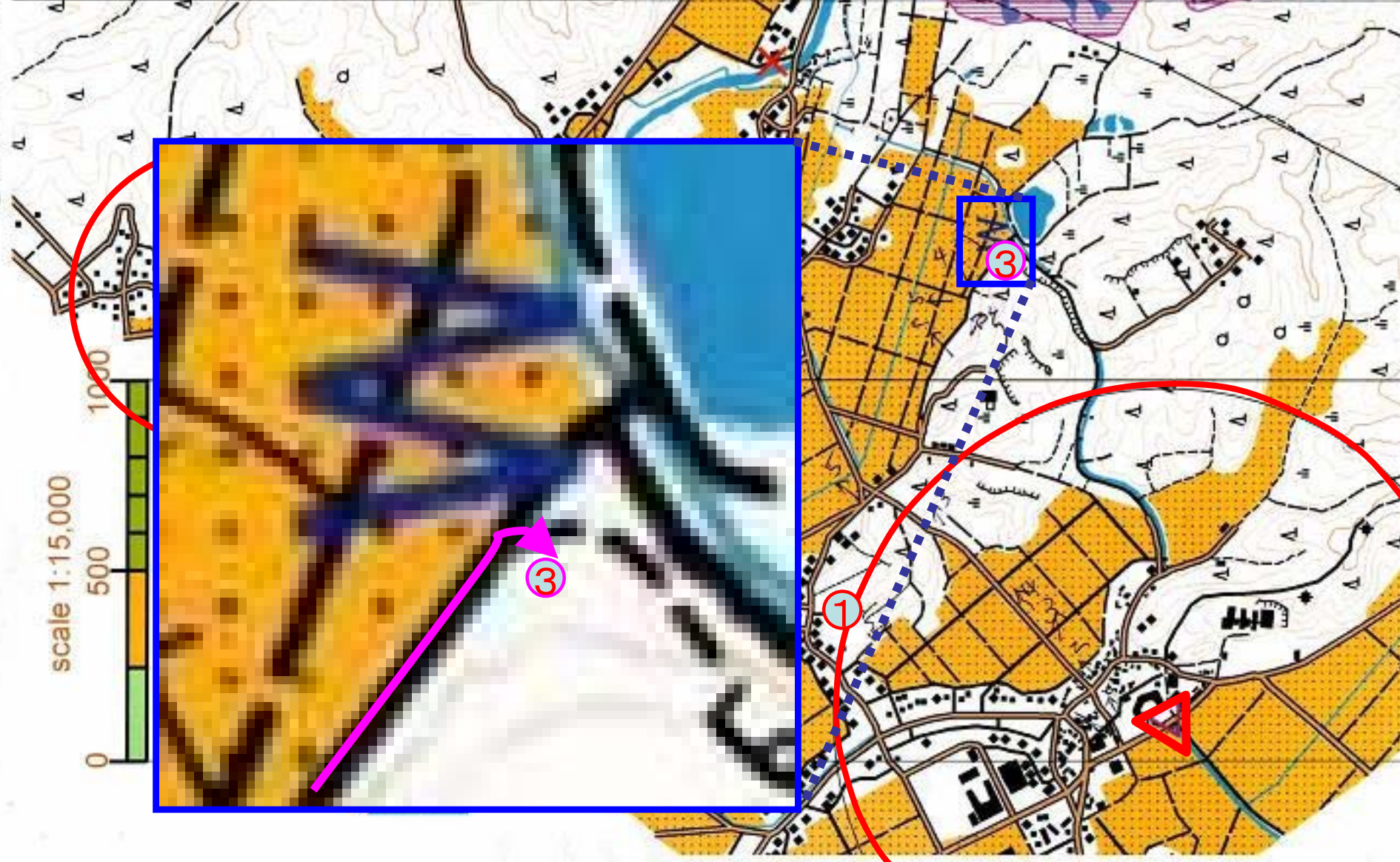
## ⑥山すそを進む

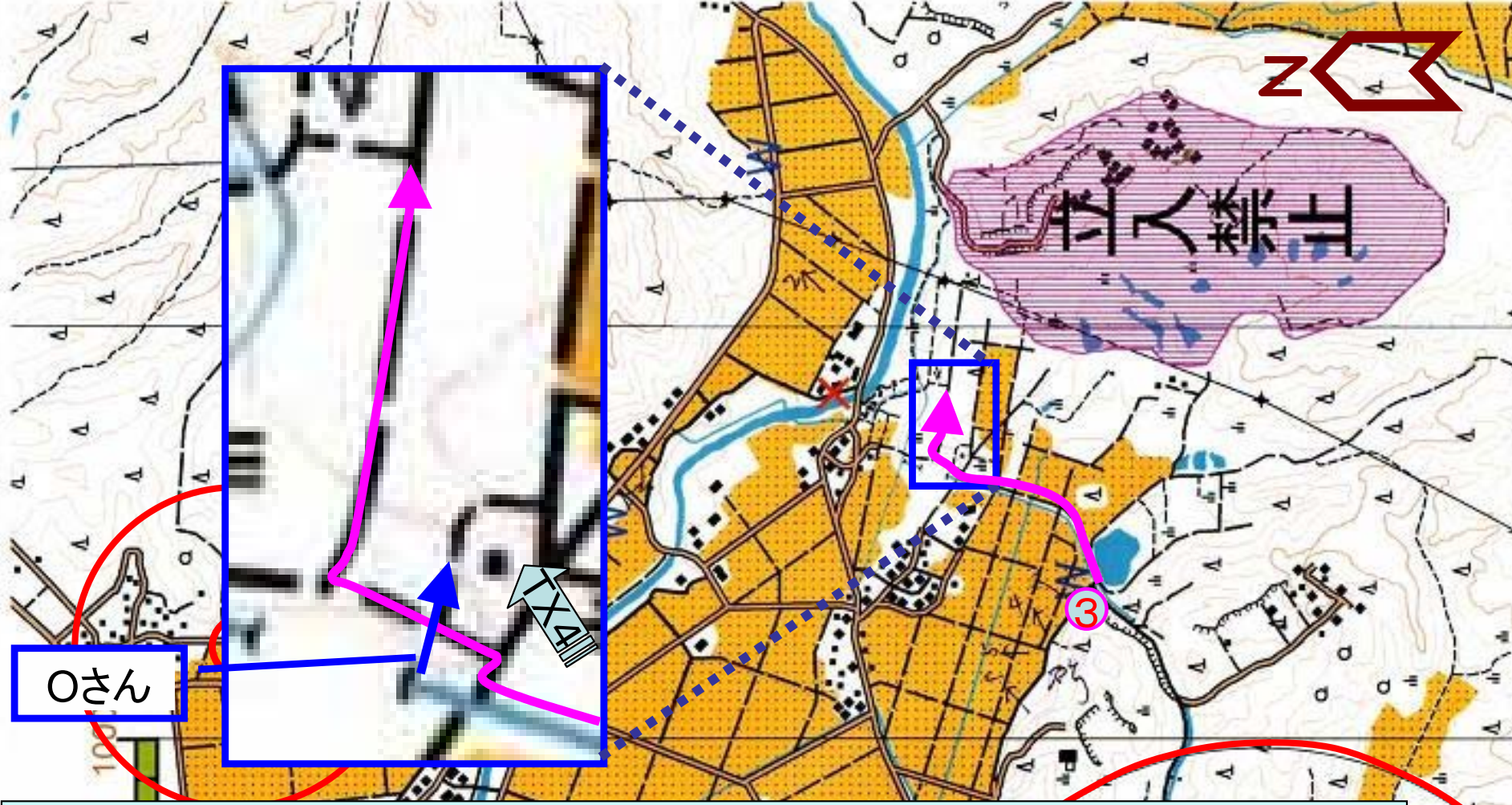
山際は方探しにくいので、本当は一本北側の直線コースを進みたかったが、入り口がわからず山際を進む。程なくNさんに抜かれる。前方にTX3がある。



⑦TX3

給水ポイント手前右に怪しげな小道がある。Nさんはその奥に入ってしまったようだ。確かにこの付近はくさい。自分は小道に入らず交差点でTX3を待つ。TX3が鳴いた。やはり小道方向で超至近距離。ATTを絞っているとNさんが高速で戻ってきて間一髪、先をされてしまった。TX3ゲット。





### ⑧Oさんとクロス

給水ポイントでおいしい水をいただいた後、予定のコースを淡々と進む。次のターゲットはTX4.途中十字路で左からきたOさんとクロス。自分は道一本北側と思っていたので、そのまま進んで右折。するとなんと前方には、Oさん。Oさん、そしてNさんは小道を入っていく。追っていくのはいやなので、自分は道で待機することにする。

# 第7回全国高等学校 ARDF 競技大会

@新潟県阿賀野市 H22.08.01

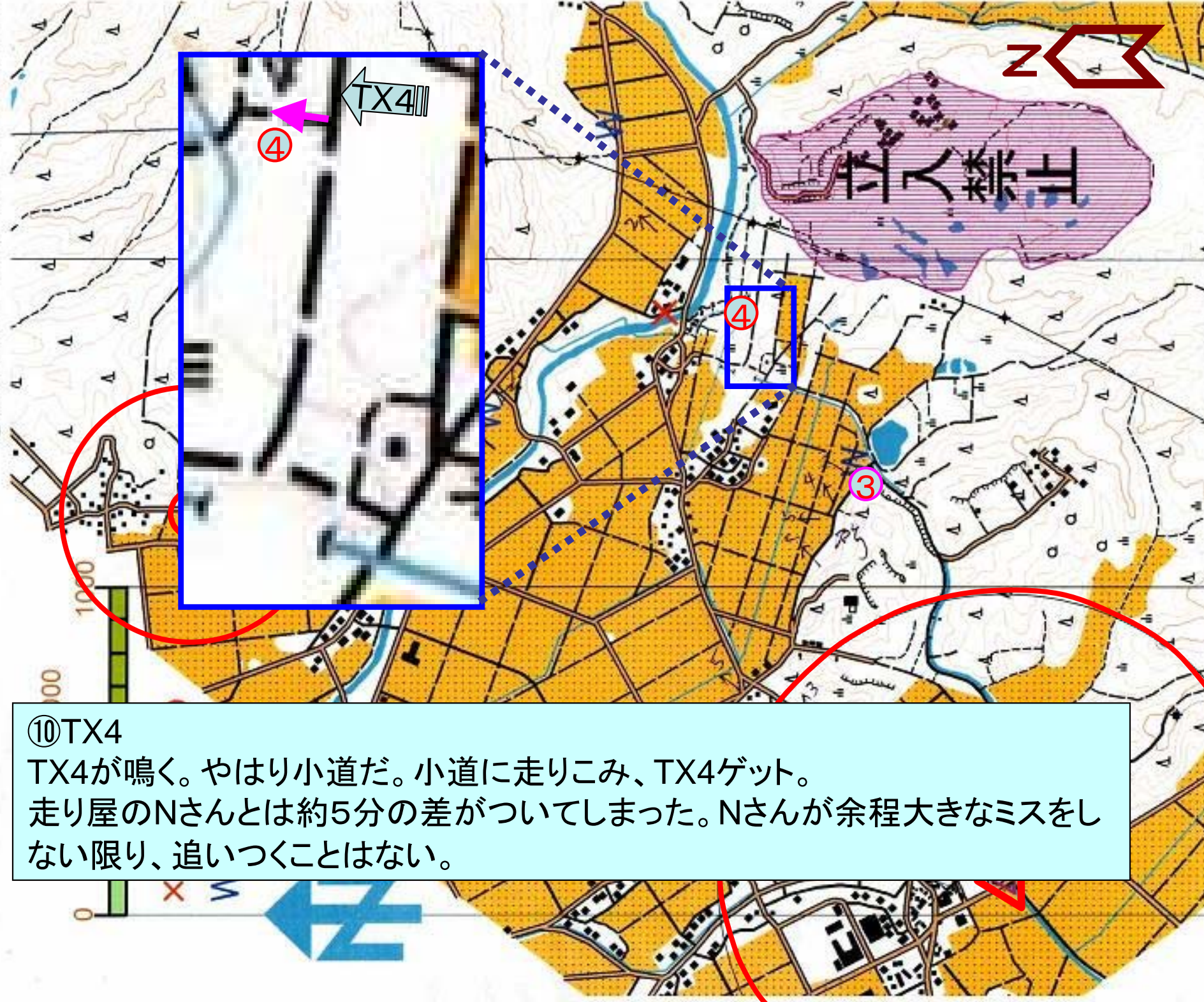


## ⑨行き過ぎ？

TXが鳴く。ええっ行き過ぎ？あわてて戻る。しかし強さから言って近くではない。結構遠そう。さっきゲットしたTX3の方向だ。  
というか、今聞いているのは何を隠そうTX3じゃないか。あわてて先ほどの場所に戻る。

# 第7回全国高等学校 ARDF 競技大会

@新潟県阿賀野市 H22.08.01



## ⑩TX4

TX4が鳴く。やはり小道だ。小道に走りこみ、TX4ゲット。  
走り屋のNさんとは約5分の差がついてしまった。Nさんが余程大きなミスをし  
ない限り、追いつくことはない。

# 第7回全国高等学校 ARDF 競技大会

@新潟県阿賀野市 H22.08.01



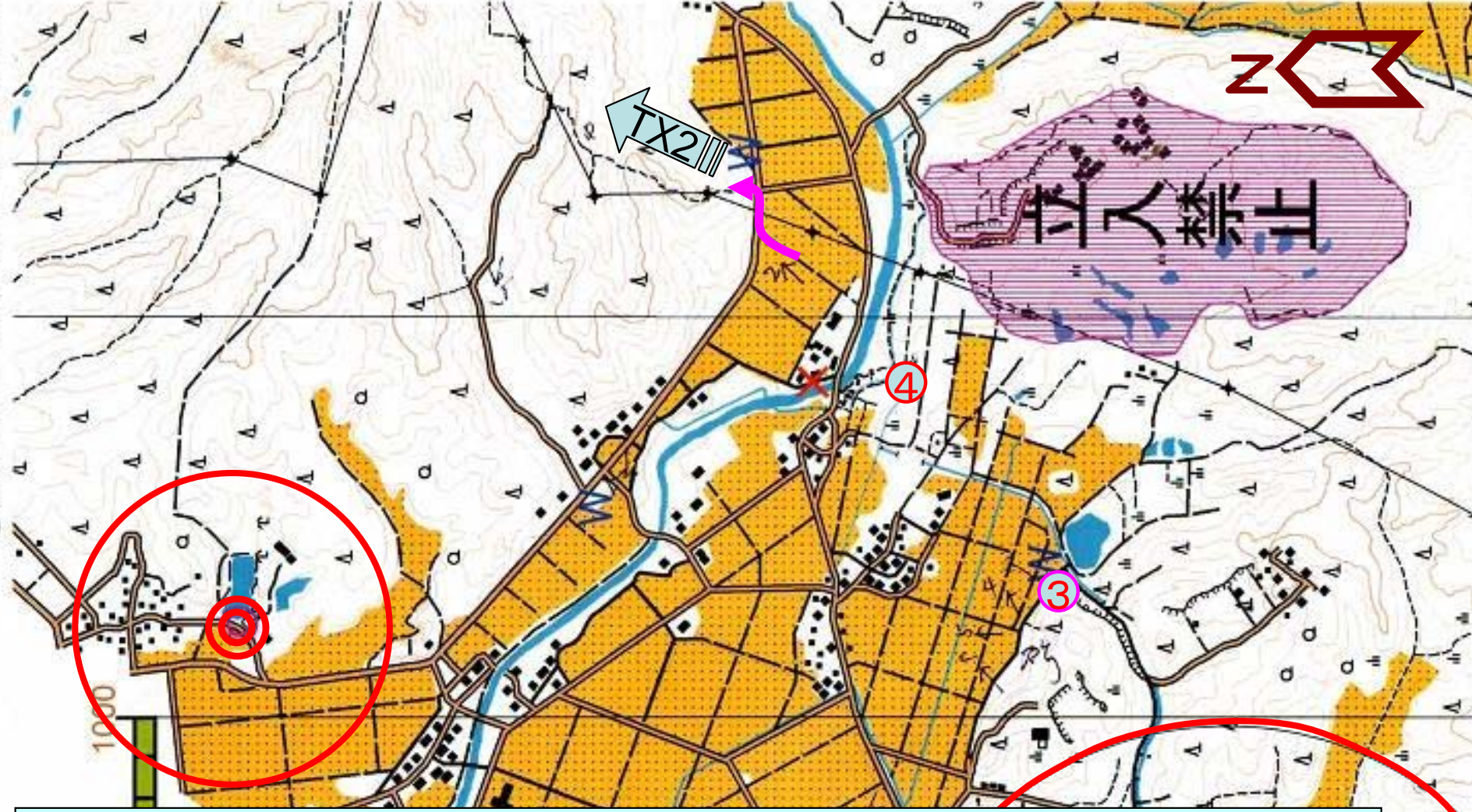
## ⑪山の上の高圧鉄塔

TX2は山の上の高圧鉄塔の方角。登る競技者と降りる競技者が見える。しかし強さからすると、見通しではない。上り詰めた鉄塔下、あるいはさらに向こう側だ。

しかし、あそこを登らせるのか！

# 第7回全国高等学校 ARDF 競技大会

@新潟県阿賀野市 H22.08.01

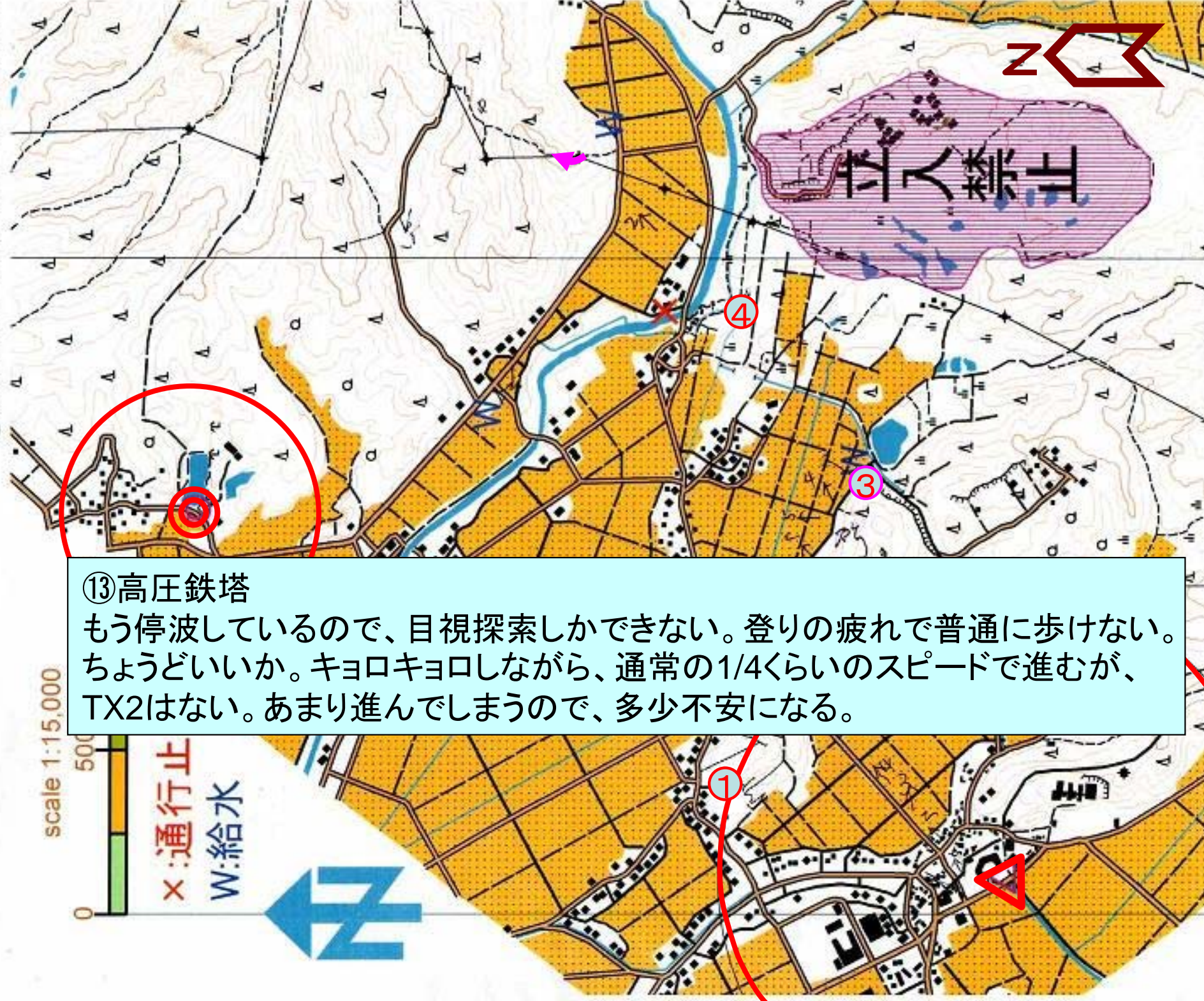


## ⑫鉄塔手前

給水ポイントのスタッフから「チャレンジするの？」と聞かれる。おいしい水は降りてからの楽しみということで早速登る。途中からかなり厳しくなる。あと20mくらいのところでTX2が鳴くが至近距離でない。しまった。上りきったところで聞けば、直接波が受信できる可能性が大であり、距離・方向がわかる。もし鉄塔直下付近であれば、確実にゲットできるのに。

# 第7回全国高等学校 ARDF 競技大会

@新潟県阿賀野市 H22.08.01



## ⑬ 高圧鉄塔

もう停波しているので、目視探索しかできない。登りの疲れで普通に歩けない。ちょうどいいか。キョロキョロしながら、通常の1/4くらいのスピードで進むが、TX2はない。あまり進んでしまうので、多少不安になる。



# 第7回全国高等学校 ARDF 競技大会

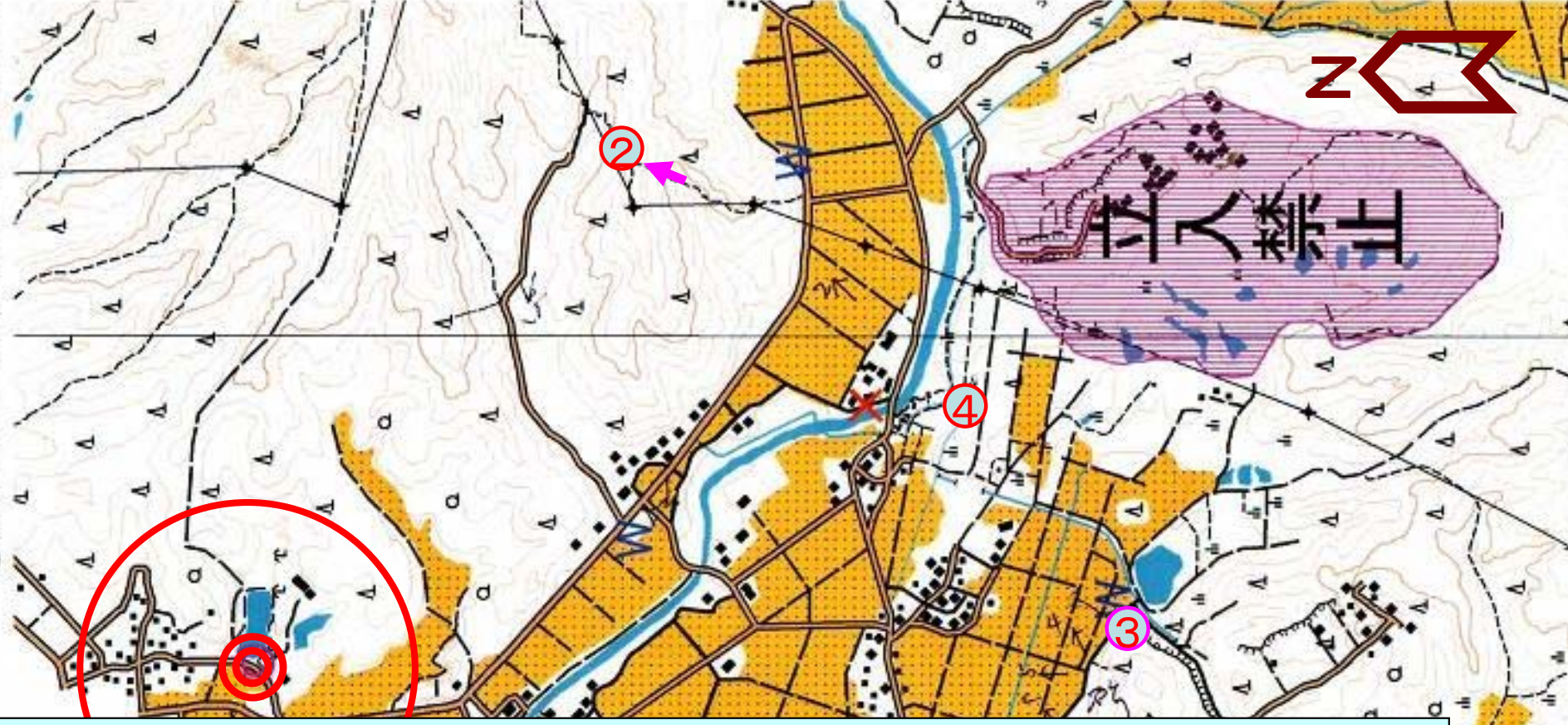
@新潟県阿賀野市 H22.08.01



⑭まだ先だ。  
TX2が鳴く。結構先ではないか。設置は反対側の道路から入ったに違いない。  
通常の進行速度に戻して、最高地点を目指す。

# 第7回全国高等学校 ARDF 競技大会

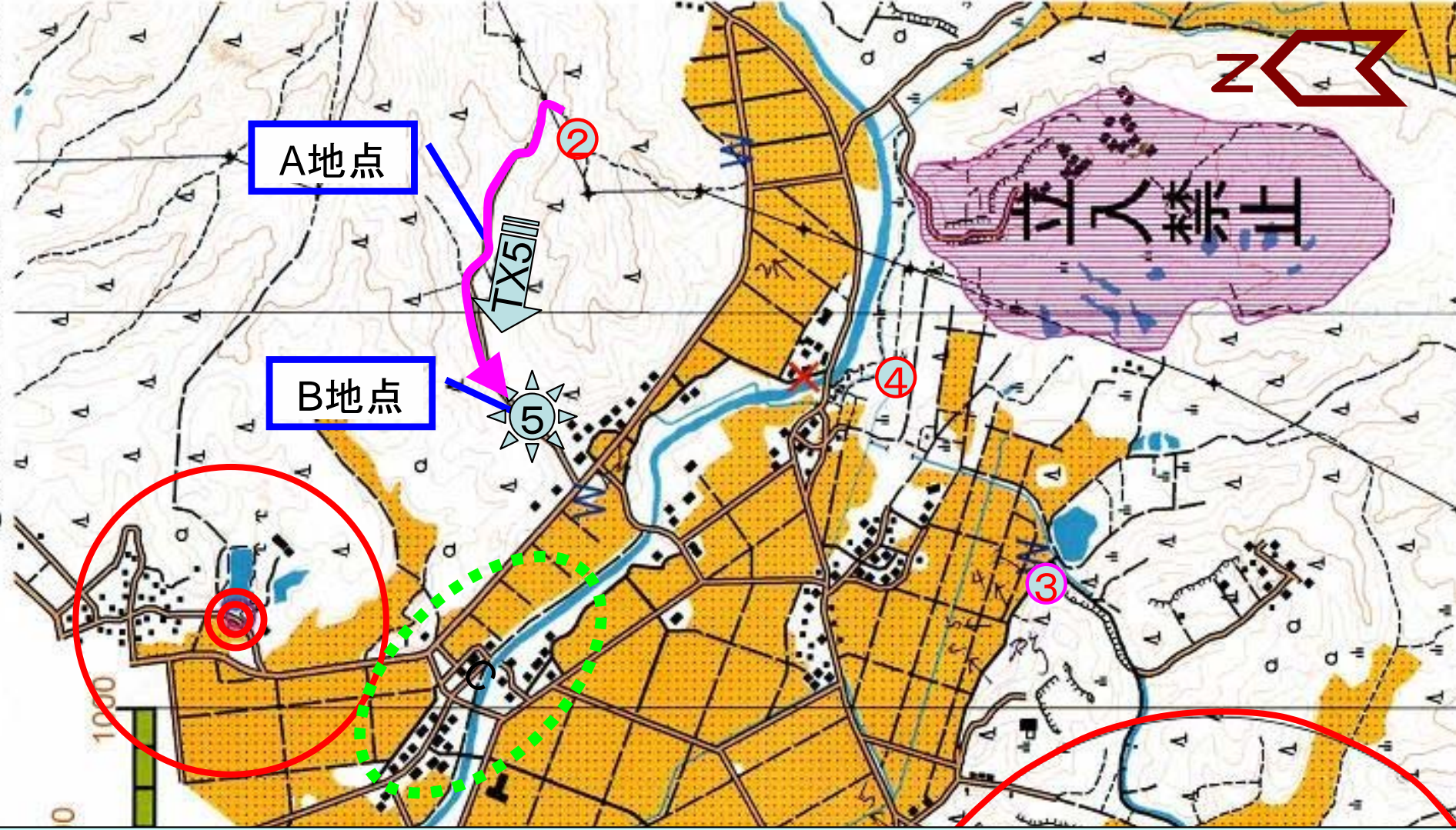
@新潟県阿賀野市 H22.08.01



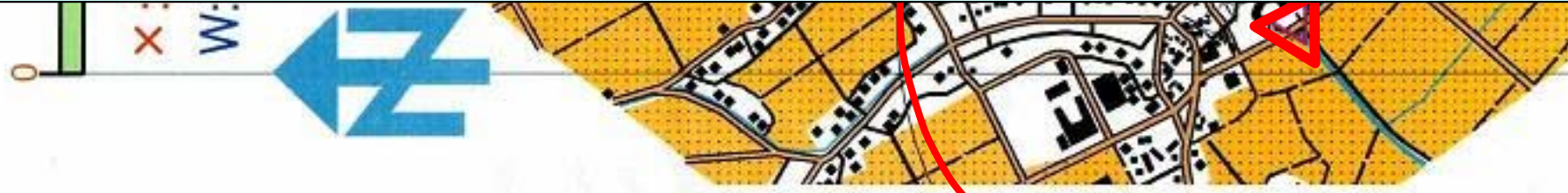
## ⑮TX2

最高地点のT字路にたどり着く。左は鉄塔へつながる平坦な道。右は反対側道路へつながる下り道。ここで待つ。左の鉄塔付近であっても鳴いている間にゲットできるであろうという理屈をつけて休む。TX2が鳴く。右の下り方向だ。すばやく駆け下りTX2ゲット。





⑩TX5を目指す  
道路に出てTX5を目指す。Cエリアのようだ。下ってくる途中、B地点で方探不能になったので、Cエリアでも北側の可能性が高まった。  
このメカニズムを次ページにて解説する。



# A地点で方探できて、B地点で方探不能になった推定理由の解説

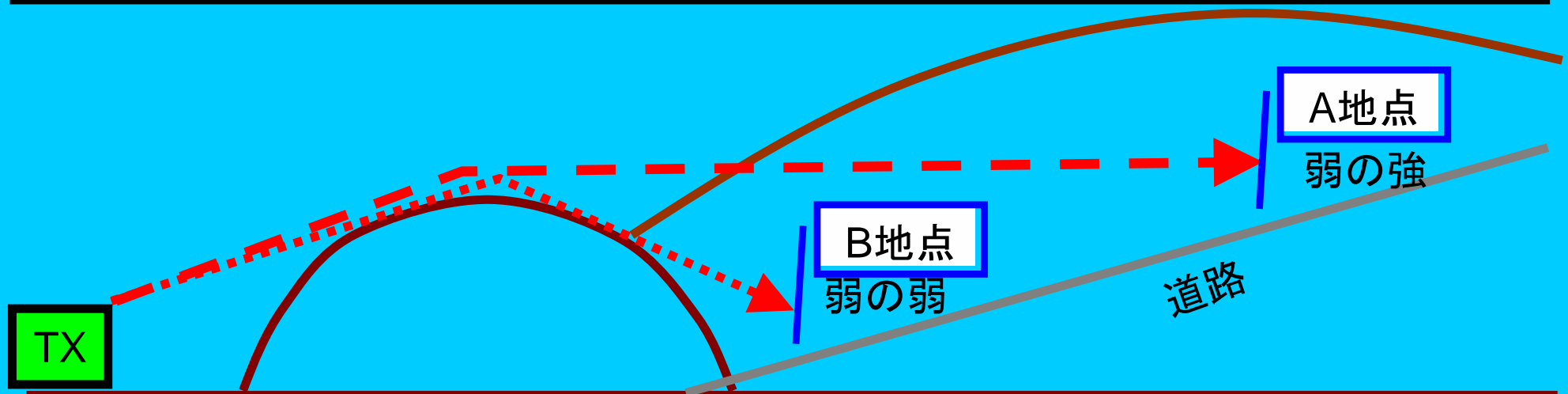
- ・A地点、B地点ともに直接波を受けてはいない。(TXは山向こうで見通せない)
- ・山の回折波はTXの方向からくるが、B地点では角度があるためA地点に比べ弱い。
- ・反射波はTX以外の方向からだが、方向と強度は不定。ただし直接波より弱い。

## ◇A地点

「回折波 ≧ 反射波」であり、誤差はあるが、ある程度方位が特定できる。

## ◇B地点

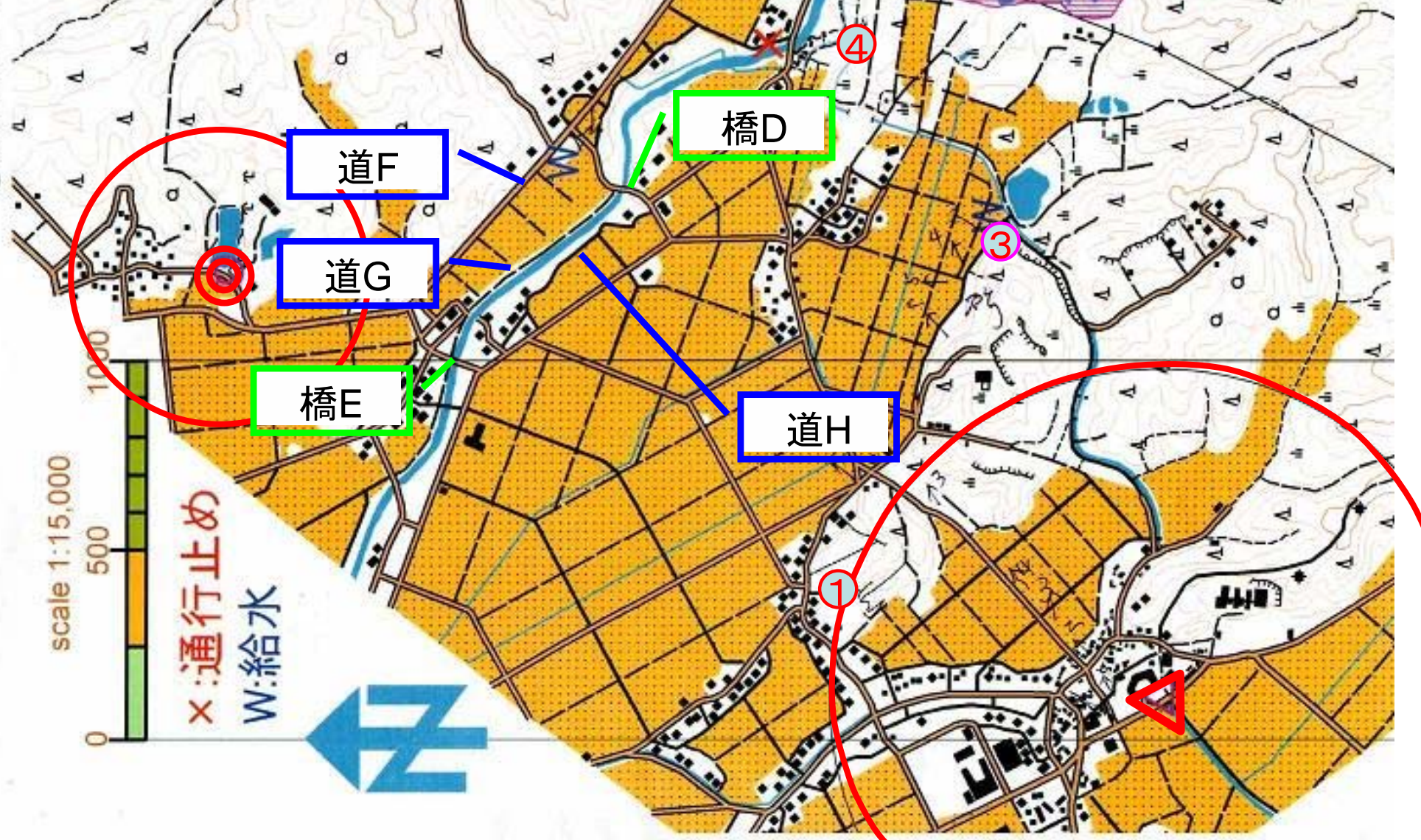
「回折波 ≦ 反射波」であり、方位わからん状態となる。



逆にこのような位置配置になる場所にTXがあると推定した。

### ⑰川の問題

問題は川。渡る橋はDとE。TXが川向こうであるならば、Dを渡りたい。しかし、現時点では川のこちら側である可能性がやや高い。道はF,G,Hと3本ある。ここは、Gを進みたい。その理由は、川のどちら側にあるかが確実にわかるからである。もしFからGへ行く道があればそれを選んだが、Dの橋を渡る可能性も考え、少し遠回りになるが、最初からGの道を行くことにした。



# 第7回全国高等学校 ARDF 競技大会

@新潟県阿賀野市 H22.08.01



## ⑱川の北側判定

給水ポイントに立ち寄った後、Gに行くために橋の方へ戻る。  
TX5が鳴く。確実に川のこちら側だ。安心してGに行くことにする。

第7回全国高等学校 ARDF 競技大会

@新潟県阿賀野市 H22.08.01



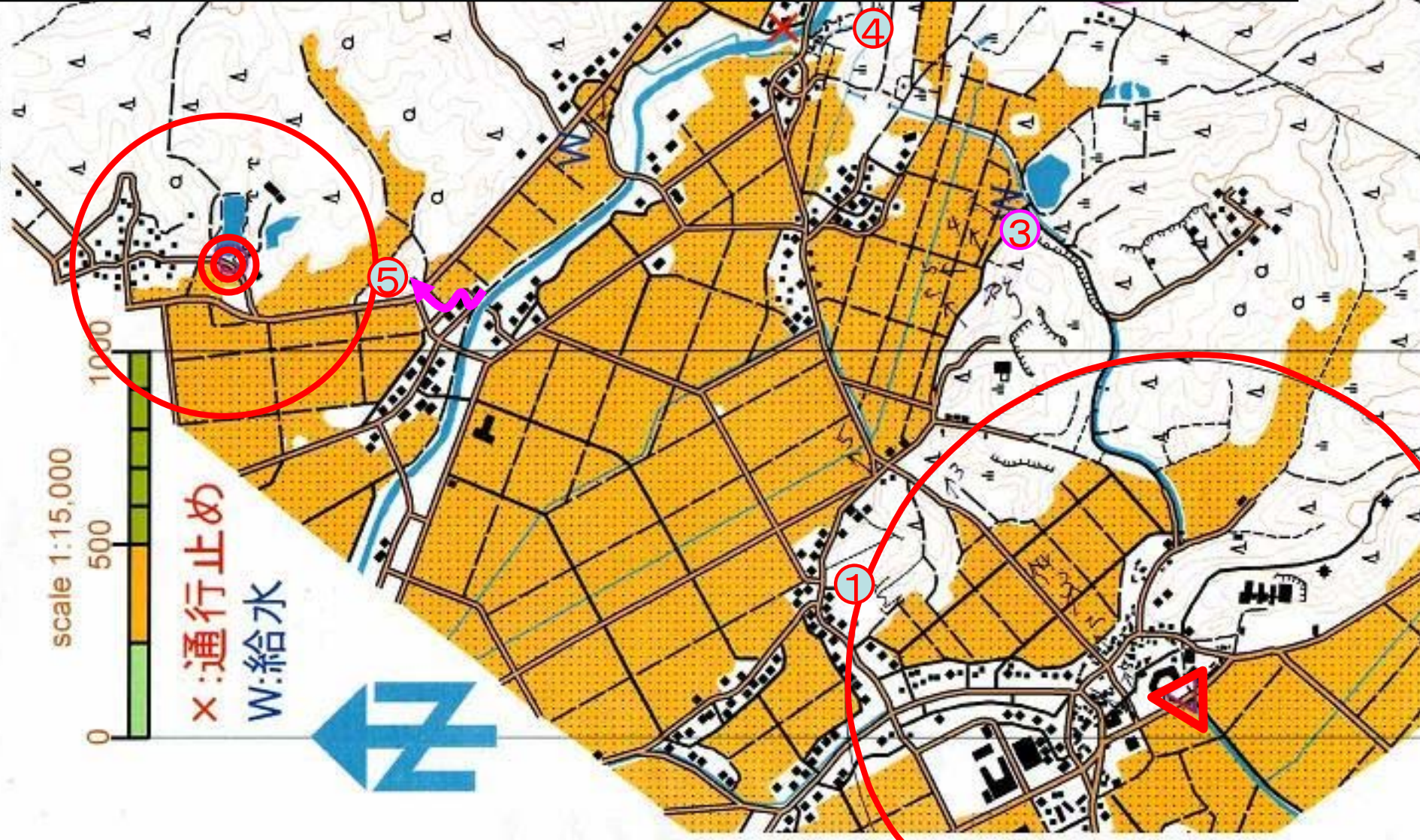
①9鳥居  
TX5が鳴く。山のほうに鳥居が見える。これは当確。神社の階段を駆け上る高校生も見える。

# 第7回全国高等学校 ARDF 競技大会

@新潟県阿賀野市 H22.08.01

## ②TX5

鳥居をくぐり階段を上がり、お宮の裏側へと進む。TX5が鳴く。TX5ゲット。





# 第7回全国高等学校 ARDF 競技大会

@新潟県阿賀野市 H22.08.01

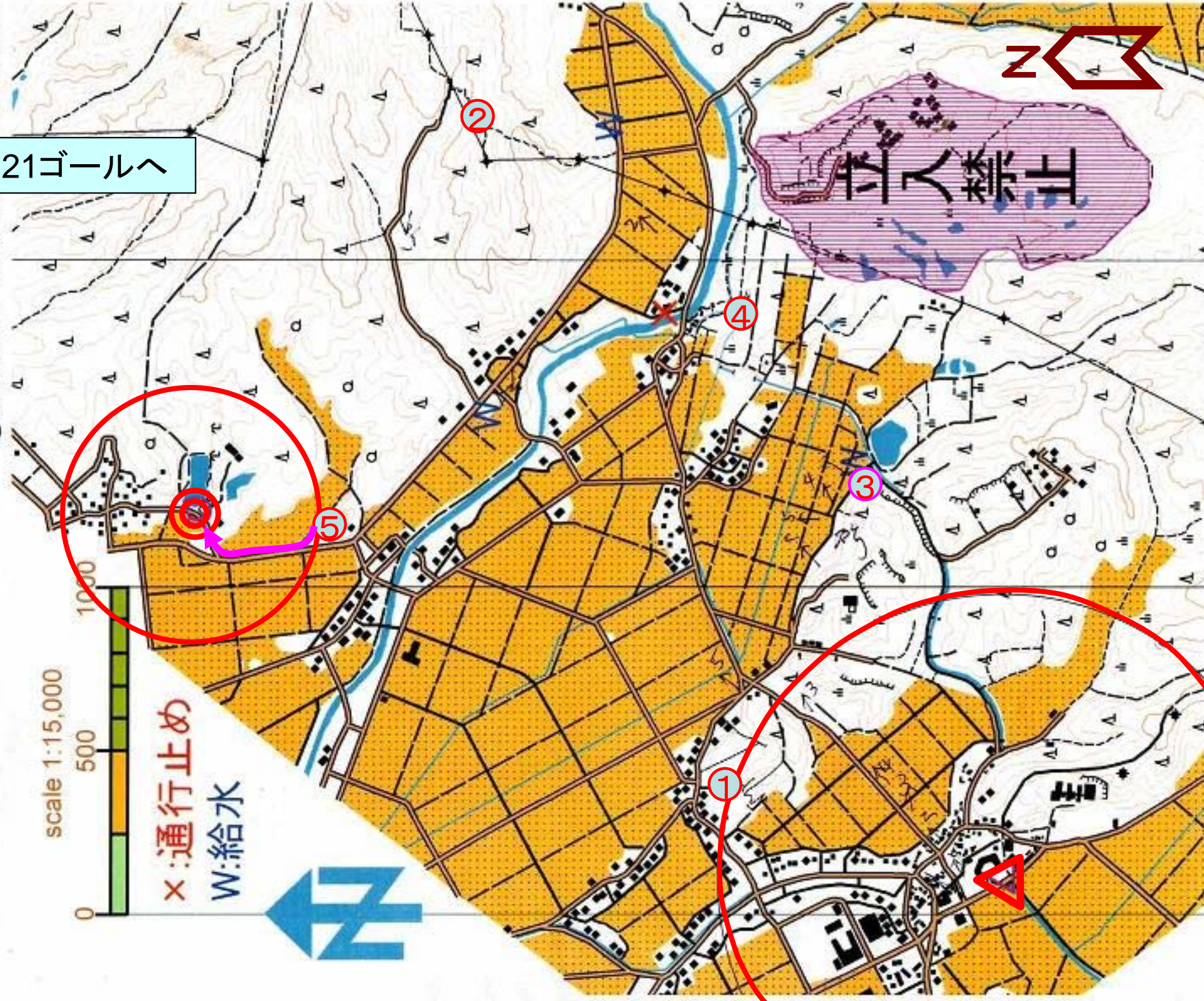
21ゴールへ

scale 1:15,000

0 500 1000

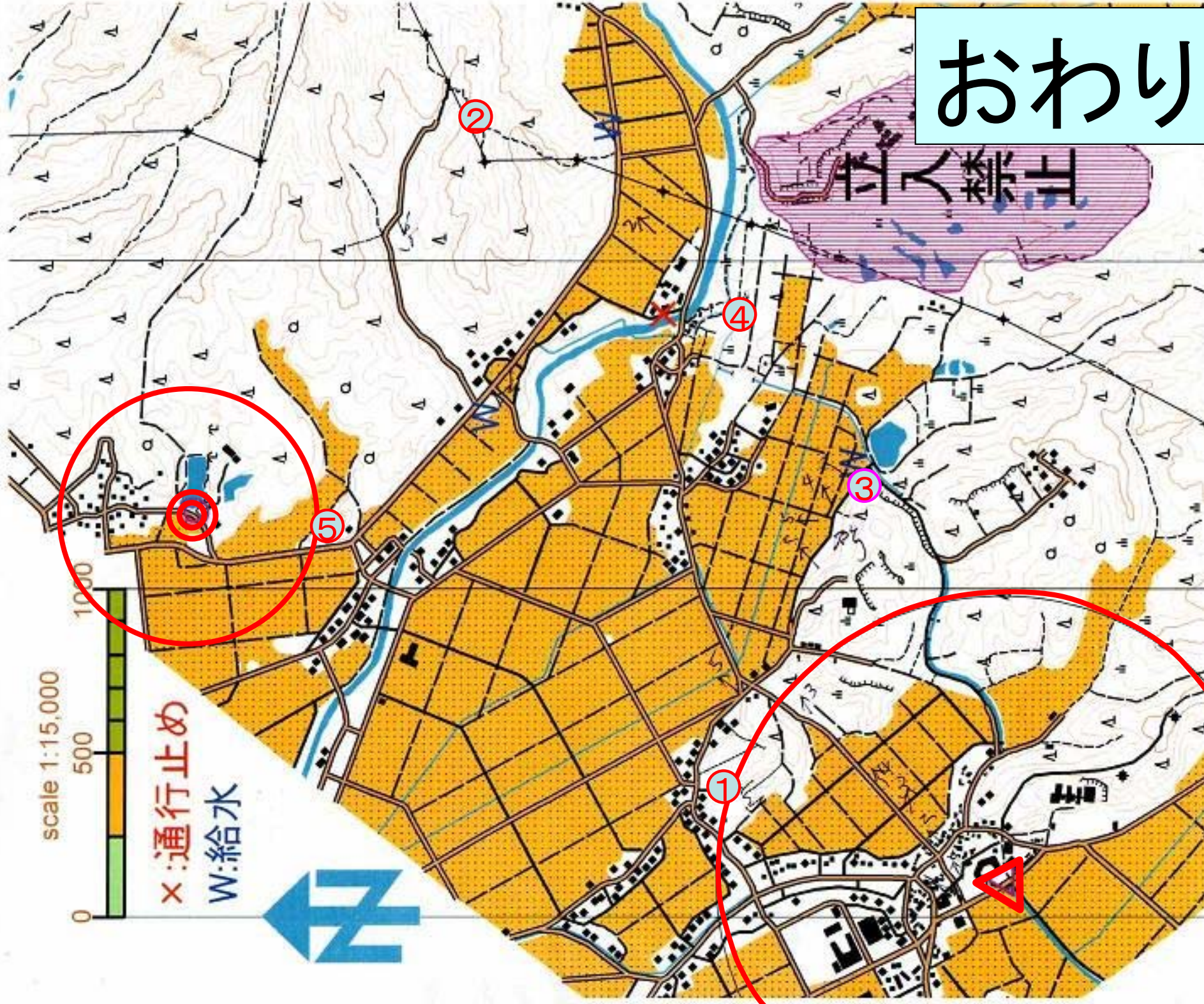
x: 通行止め

w: 給水



# 第7回全国高等学校 ARDF 競技大会

@新潟県阿賀野市 H22.08.01



おわり

# 反省

◇今回は、特にミスコースなく順調に推移したが、これはちょうど良いタイミングでTXが鳴くなど、幸運に恵まれた結果であることは否めない。

◇終始、ターゲットTXのみの方探であり、ターゲット以外のTXの方探がおろそかであった。これをきちんとやれば、先のTXの位置特定精度が上がった可能性がある。

◇今回は交差点での待ちが比較的多かった。短時間ではあったが無駄に過ごしてしまった感がある。周辺を目視探索などをきちんとすべきであった。

◇TX4待ちのとき、間違えてTX3につられてしまったのはお粗末。